

## (仮称)旧上瀬谷通信施設公園の北地区における サウンディング調査(対話1回目)の実施結果を公表します

(仮称)旧上瀬谷通信施設公園の北地区は本公園基本計画(案)により「公民連携を積極的に推進し、自然と共生しながら、賑わいを創出する地区」としており、民間活力導入のため、民間事業者の皆さまとのサウンディング調査(対話1回目)を実施しましたので、結果を公表します。

### 1 対話実施結果

#### (1) 対話期間

令和4年11月10日から11月16日まで

#### (2) 参加事業者数

17法人又は法人のグループ

#### (3) 提案・意見の概要

主な意見として以下のものがありました。

#### ■ 対象区域の魅力

- ・ 都会にありながら自然を感じられる場所である。
- ・ 首都圏でも貴重で広大な敷地である。
- ・ 2027年国際園芸博覧会が開催され、認知度アップが期待できる。
- ・ 観光・賑わい地区など他地区との相乗効果が見込め、多様な賑わいを創出することが可能である。
- ・ 交通利便性が優れている。

#### ■ 事業内容

自然の中での様々な体験を取り入れた事業や、SDGs、ゼロエネルギーやゼロカーボンなど環境をキーワードにした事業などの提案がありました。

#### ■ 想定施設

グランピング施設、キャンプ施設、バーベキュー施設、飲食・物販施設、アスレチック施設、ガーデニングセンターなど様々な施設の提案がありました。

#### ■ 事業手法

Park-PFI 制度が最も多く提案されましたが、事業採算性や維持管理費用などの課題についての意見もありました。

#### ■ 事業期間

複数の事業者から20年から40年程度を希望するとの意見がありました。一方、時代のニーズを考慮して最低でも5年や10年ごとに事業内容を見直し、必要に応じてリニューアルを実施していく必要があるとの意見がありました。

#### ■ 市への意見・要望

- ・ 事業検討にあたり、観光・賑わい地区のテーマパークの事業内容や交通計画の影響がある。
- ・ 公園と観光・賑わい地区をつなぐ動線の確保が必要である。
- ・ Park-PFI 制度の場合は、特定公園施設の整備範囲や費用負担割合などが事業検討にあたり重要である。

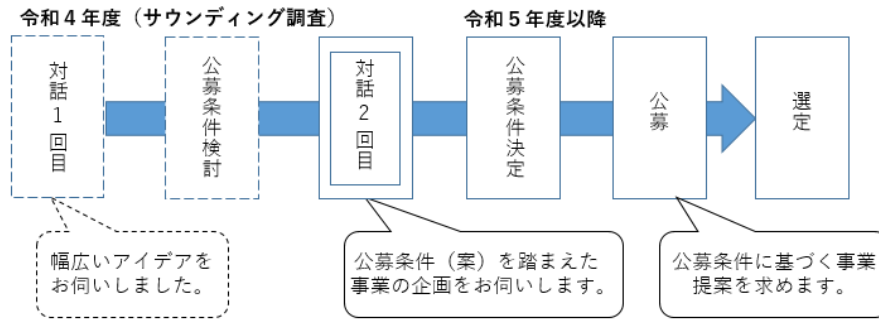
※詳細については、下記 URL をご確認ください。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/koen/tsukuru/seibikeikaku/kamiseya/kamiseyasounding.html>



## 2 今後のスケジュール

今回の対話の結果を踏まえ、具体的な公募条件（案）などを示した2回目の対話を今年度中に実施する予定です。



参考：Park-PFI（公募設置管理制度）

飲食店、売店などの公園利用者の利便の向上に資する「公募対象公園施設」の設置と、当該施設から生ずる収益を活用してその周辺の園路、広場などの一般の公園利用者が利用できる「特定公園施設」の整備、改修などを一体的に行う制度

お問合せ先

環境創造局公園緑地整備課上瀬谷担当課長 石原 従道 Tel 045-671-4787